

保健事業報告

平成24年度の保健事業は、健康保持のための特定健康診査・特定保健指導と、保健のPR、病気の未然防止のため、疾病予防を中心とした各種健診等を実施しました。

主な事業と利用者数は、以下のとおりです。

特定健康診査等

平成20年度から始まったメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を基本に、従来よりも予防を重視した内容となっています。

※被保険者(本人)については、原則事業主が行う定期健康診断のうち特定健康診査に該当する項目の情報提供を受けています。

対象者	利用者
①特定健康診査……………40歳～74歳の被保険者・被扶養者	799名 (前年比76名増)
②特定保健指導……………※基準該当者	22名 (前年比13名減)

※基準については、こちら → <http://www.kenporen.com/oyakudachi/tokutei.html>

(なお、基準該当者のうち、過去に特定保健指導を受診された方(特定健康診査の結果、改善が見られない方を除く)は、含めていません。)

保健のPR

- ①ホームページの運営…保険給付や保健事業の最新情報を提供するとともに、各種申請書の配信。
- ②医療費等の通知……………「医療費のお知らせ」「保険給付費の支給決定通知書」をwebにより通知。
- ③健康者表彰……………1年間、本人・家族とも健康保険証を一度も使用されなかった方を表彰。
- ④「すくすく赤ちゃん」の贈呈…1人目の子供を出産したときに育児の参考書として贈呈。

疾病の予防

対象者	利用者
①人間ドック……………35歳以上の被保険者・被扶養配偶者	447名 (前年比8名増)
②胃部エックス線検査……………35歳以上の被保険者	43名 (前年比1名減)
③子宮がん検診……………20歳以上の被保険者・被扶養配偶者	31名 (前年比3名減)
④大腸がん検診……………40歳以上の被保険者・被扶養配偶者	37名 (前年比9名増)
⑤インフルエンザ予防接種…世帯(被保険者・被扶養者)	224名 (前年比7名増)
⑥家庭常備薬配布……………被保険者	1,172名 (前年比32名減)

保養所

心身の保養のための宿泊料の補助 435泊 (前年比18泊減)

以上